

熊本アイルランド協会第24期市民講座

年間テーマ『アイルランドの魅力、日本の魅力』

アイルランド人の人懐っこさはそのおもてなしの心において日本人のそれに近い。アイルランド人の音楽は清澄な哀愁とともに日本人の感性に近い。アイルランド人のハイクロスの円形は日本人の太陽を拝み敬する精神に近い。民族を言えばアイルランドの人々はケルト民族である。そしてこのケルト民族はかつてヨーロッパ大陸を席巻していた民族であった。アイルランド人を父とし、ギリシャ人を母として熊本にかつて住み世界に紹介してくれた文豪ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）の存在は決して忘れられてはならないであろう。

アイルランドの国土は確かに小さいが、文化・芸術を愛する心は大きい。山川草木、野の花を愛する精神に溢れている。その風土から生み出されてくる詩や音楽、民話や説話の語り、激しくも美しいリバーダンス、そして道端の妖精たちの演じるドラマは魅力に溢れている。

熊本アイルランド協会は、前年度はコロナ禍で十分な活動ができませんでした。しかしひとつ、今年度はこの市民講座を通してアイルランドの豊かな世界（文化、歴史、風土）を分かりやすくお伝えしていきたいと思っています。皆様ぜひお越し下さい。

————— 講師からひとこと —————

「骨董」や「怪談」などハーンの再話物語の著作には、「怪奇」美と恐怖など、超自然の世界が数多く描き出されています。ハーンは日本人の持つ道徳律の高さを称賛しつつも、日本人を真に理解するには、その信仰や宗教、スピリチュアルなものを底流とした物語を知る必要があるとも記しています。来日後のハーンの著作中には民俗資料の蒐集や研究から、神秘的なものに対する鋭い感受性を生かした科学的な論述も数多く見受けられます。ハーンは20世紀に入ってすぐに亡くなりましたが、その後間もなく無意識、相対性理論、量子力学といった学問上における三大発見がありました。今日では物理学や科学における最先端の技術の発展に伴い、彼の描いた「超自然の世界」が徐々に解明されつつあるように思えてきます。今回はそのような観点から、それらに関連する著作をいくつかご紹介しながら、一緒に想像をめぐらせてみたいと思います。

坂本弘敏

講師：坂本弘敏氏（小泉八雲熊本旧居館長）
演題：『ハーンの異界と量子の世界』

期日：令和4年10月29日（土）午後2時～3時30分 参加費：無料

会場：お菓子の香梅帯山店ドウ・アート・スペース（熊本中央区帯山7-6-84 国体道路沿い）

第6回市民講座は12月10日（土）朗読グループ 石蕗の花の会

テーマ：『ハーン作品の朗読と音楽』を開催します。

会場：お菓子の香梅帯山店ドウ・アート・スペース

※参加はマスク着用でお願いします。受付で手・指の消毒と検温等にご協力ください。

お問い合わせは熊本アイルランド協会事務局へ

Tel.096-366-5151 Fax.096-372-1857 / Email:office@kumamoto-ireland.org